

5年 子どもたちのよさをさらに伸ばすために

1学期の間、子どもたちと過ごした中でさまざまなよい面を発見することができました。2学期以降は、1学期の学習や生活経験を生かし、次のような点に力を入れて授業の充実を考えています。

国語

- ・ 学習効果測定において、「読むこと」や「言語文化」に関する事項は、目標値を上回っている。バランスよく力が養えるように、どの観点も、基礎的基本的な知識を身に付け、着実に定着できるように指導する。
- ・ 漢字や文章を書くことの、問題の値が目標値よりも低かった。文の構成や、指示語について普段の学習から意識させる。また、とめ・はね・はらいを意識した漢字の練習など、学習活動の充実を図る。

社会

- ・ 学習効果測定の結果は、目標値を下回っている。学力を伸ばすために、調べた社会的事象と、覚えなければならない事柄を関連付け、確実に知識を定着させる。
- ・ 写真やグラフ、各種資料などの読み取り方を身に付けさせ、資料から何を読み取れるかを丁寧に指導し、活用する力を伸ばす。

算数

- ・ 学習効果測定において、「変化と関係」が、目標値を上回っている。内容別に見ると、「計算のきまり」と「角の大きさ」を苦手としていた。計算のきまりや面積について復習し、理解させる。また、分度器の使い方を確認し、正しく角の大きさを読み取らせるために、操作活動を取り入れて理解を深めさせる。
 - ・ 基本的な計算が目標値を下回っている。継続的に取り組みせ、計算力の育成を図る。
- ☆ 次の単元は、児童の理解が難しいので、丁寧に指導する。
「単位量当たりの大きさ」
「百分率とグラフ」

学級活動

- ・ 話し合いのスキルを身に付け、自分たちの力で学級会が進められるようにする。
- ・ 児童の創意工夫を生かし、一人ひとりの良さが発揮できるようにする。

入新井第二小学校の5年生

図工

- ・ 創造活動を楽しみ、体全体を使いながら、自分らしい作品を仕上げられるようにする。
- ・ 友達の作品を鑑賞したり、相談し合ったりすることで、作品の新たな「良さ」に気付かせる。

体育

- ・ 運動の特性に応じた技能を身に付けさせるために、練習方法や活動の場の工夫をしたり、習熟度別に学習させたりする。ポイントになる動きを繰り返し指導する。
- ・ ペアやチームで協力しながら学習をさせることで、豊かな人間性を育み、運動のよさを味わわせる。
- ・ 運動の課題を見付け、その解決のために活動を工夫し、考えたことを表現させるために、技のやり方やポイントを確認することや振り返りができる学習カードを活用する。

理科

- ・ 学習効果測定の結果は、目標値を下回っている。学力を伸ばすために、基礎的基本的な用語や実験・観察で見付けた事象について、知識として着実に定着できるようにする。
- ・ 内容別に見ると、「電気のはたらき」や「物のあたたまり方」を苦手としていた。物質・エネルギーに関する領域の復習をし、理解させる。
- ・ 実験の結果から、考察をさせることで、論理的に説明する力を育む。また、ペアや班で話し合いをすることで考えを広げる。

音楽

- ・ 歌唱においては歌詞の内容をイメージし、描かれているメッセージを読み取る学習を取り入れて、思いや意図をもって表現活動ができるように指導する。
- ・ 楽曲への興味を高める活動を行わせ、音楽を形づくっている要素を感じ取る能力を身に付けさせる。

ICTの活用

- ・ タブレットの活用を通して、表現力を養う。また、交流の場で活用することで、視覚的に思考を示したり、論理的に表現したりする力を養う。

家庭科

- ・ 視覚的教材を活用し、家庭生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得できるようにする。
- ・ ミシンや裁縫道具を使った、日常生活に生かせる物の作品製作を行い、意欲的に取り組めるようにする。